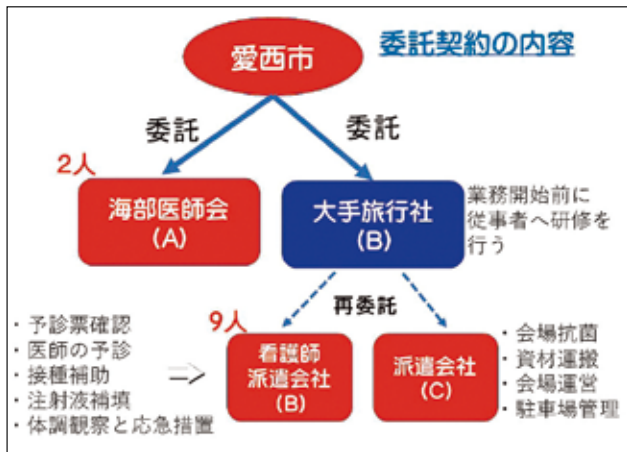


ワクチン接種で死亡 なぜ弔問しない

吉川 三津子議員



事故調査委員会の設置・協議が先決
市長



▲コロナワクチン接種の委託契約 (赤枠=当日スタッフ)

問 市は、集団接種業務を海部医師会と大手旅行社に委託し、旅行社は、更に看護師派遣会社と一般派遣会社に再委託してスタッフを集めている。異なった組織の人たちで危機管理体制ができていたか疑問だ(左図)。

答 公共施設での市の事業だ。なぜ弔問に行かないのか。

答 事故調査委員会を設置し、協議を進めることが先決だ。

問 運ばれた病院に市は行かなかった。市は、女性の死を翌日に遺族から聞き、その日は何事もなかったかのように集団予防接種が実施された。

答 遺族は「家族の死は体何だったのか」という思いだろう。市長、線香二本をあげては。

答 調査委員会の結果を受け止め、対応する。

問 接種事故後、どのような改善をしたか。

答 接種会場には、医師2名を配置している。急変時、医師1名の対応だったが、11月19日から医師2名対応とした。

問 国の手引き書では、接種会場に運営管理責任者1名を置くことになっている。誰が担っていたのか。

答 当日の運営管理者は、委託先の民間機関だ。

問 緊急対応マニュアルを担当は共有できていたのか。

答 役割分担は共有されていた。

30分で共有は可能だ。

問 委託契約書に、看護師の事前研修が義務づけられているが、どのような研修か。

答 研修は把握していないが、基本的な知識は持っている。

その他の質問

- 休日保育の実施を
- 農村地域の空き家対策を

問 看護師の勤務は、接種開始の30分前からの契約だ。現場の支度もあり、他自治体は支度時間を1時間とついているところもある。

契約に無理はなかったのか。

答 予防接種について周知してあるので、当日は